

## 平成31年度版 改善計画

学校名：甲府市中道北小学校

No.	項目	現状と課題	R2 年度に目指すべき状態	①H31 年度に実施する内容 ②R2 年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	○前年度より改善はしているが、会議終了時刻がずれてしまうことがある。 ○資料の準備が遅くなりがちで、事前確認ができていない。	・会議は定時に終了する。 ・資料のペーパーレス化 ・2日前に資料がデータでそろろう。 ・打ち合わせ時間の削減	①資料のペーパーレス化を継続する。 ①資料を事前に確認しておき、会議中の説明的な時間を減らす。 ①協議と連絡を区別する。 ②会議の統合・時程変更の可能性を検討する。	
2	学校行事の負担軽減	○行事の実施後に振り返りを行っている。 ○恒例行事においても内容の見直し精選を行っている。事前準備に時間がかかる。	・行事への取組の効率化 ・学校行事への取り組みの時間を含めた内容の見直し。	①早めの計画立案・提案。資料の共有化 ①日常の教育活動を通して効率的に準備を行う。 ②行事实施後に児童にどのような力がついているかを明確にしておく。	
3	校内組織の見直し	○業務内容が明文化されていないため、確認の手間が必要なものもあった。	・分掌業務内容を一覧にする。 ・引き継ぎ書を作成し共有する。	①業務の内容を文字で共有して、不必要な確認作業など無駄を省く。 ②学校評価を反映して、校内組織の統合や削減を目指す。	
4	業務の効率化	○経年のデータを電子化して共有している。 ○業務終了後改善したものが作成されていないため、翌年改めて詳細内容や、方法の確認に手間と時間がかかる。	・事前打ち合わせ、準備を効果的に行う。 ・資料としてデータ化し、業務の確実な引継ぎを行う。	①週報の電子化を進め校内サーバや校務支援システムを有効活用する。 ①実施要項、引継書の電子化と業務の詳細までわかるような引継ぎの工夫 ②業務内容のデータの保存方法を見直し、必要な情報へのアクセスをわかりやすくする。	
5	部活動の負担軽減				
6	地域人材の活用	○読み聞かせ活動は定着している。 ○生活科や総合的な学習の時間などで、地域の良さを生かした活動に人材を活用し始めたが、人材の登録や組織的づくりなどまだ対応が出来ていない。	・人材バンクを整備する。 ・外部人材を活用した授業を教育計画に位置づける。 ・教育支援ボランティアの効果的な活用が図られている。	①地域人材バンクへの登録を依頼する。 ①地域人材を活用した授業を、計画的に実施する。 ②地域人材の活用に向け、人材バンクやコーディネートする組織作りを進める。教科の年間計画へ位置づける。	
7	(定時退校・計画年休の取得)	○勤務時間への教職員自身の意識改革を図る必要がある。 ○持ち帰りが多い。 ○年休の取得率が低い。	・勤務時間管理を本人と管理職で行い、計画的に業務を行っている。 ・年休を最低5日以上取得している。 ・定時退校が共通理解され、最終残留時刻が 19:00 となっている。	①退勤時刻及び出勤時刻を記録して自身の勤務時間を把握し、時間外労働解消への意識を高める。 ①月に1回定時退勤日を設定する。定時に退勤できない場合でも、最終退勤時刻を19:00とする。 ②校長は、スクールプランに業務改善についての重点目標を明記し、学校評価における自己評価を実施する。	
8	(学校独自の項目)				

※達成状況: 次のA～Dで評価し、各年度末に甲府市教育委員会に提出する。A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

●H31年度における「きずなの日」の年間回数(予定) 20 回